

第6期みやぎ観光戦略プランにおける数値目標の考え方

資料4

1. 第6期プランにおける数値目標

目標指標		R元	R5年	R6年		R9年
				回復目標	成長目標	
1 宿泊観光客数		989 万人泊	943 万人泊	990 万人泊	1,040 万人泊	1,104 万人泊
	仙南圏域	71 万人泊	63 万人泊	圏域会議で議論のうえ、 設定【中間案での議論を踏まえ、 最終案で提示する数値】		75 万人泊
	仙台圏域	742 万人泊	727 万人泊			830 万人泊
	大崎圏域	77 万人泊	54 万人泊			87 万人泊
	栗原圏域	11 万人泊	9 万人泊			11 万人泊
	登米圏域	9 万人泊	8 万人泊			9 万人泊
	石巻圏域	38 万人泊	42 万人泊			44 万人泊
	気仙沼・本吉圏域	42 万人泊	40 万人泊			48 万人泊
	構成比（仙台圏域）	75%	77%			75%
	構成比（仙台圏域以外）	25%	23%			25%
2 外国人観光客宿泊者数		53.4 万人泊	51.5 万人泊	50 万人泊	70 万人泊	120 万人泊
3 観光消費額		3,989 億円	3,985 億円	3,990 億円	4,200 億円	5,300 億円
4 観光消費額単価	日本人	22,710 円/人	26,640 円/人	—		29,000 円/人
	外国人	54,526 円/人	71,768 円/人			79,000 円/人

2. 各数値目標の設定方法

宿泊者数・客室稼働率等の現状

【直近の宿泊者数の状況】

OR6宿泊者数(県全体)の対R5比97.6% [R6.1~10] ■日本人 94.9%、■外国人146.3%

【客室数と客室稼働率の推移】

○客室数については、ほぼ横ばいで推移 (H25以降年平均増加率+0.3%)

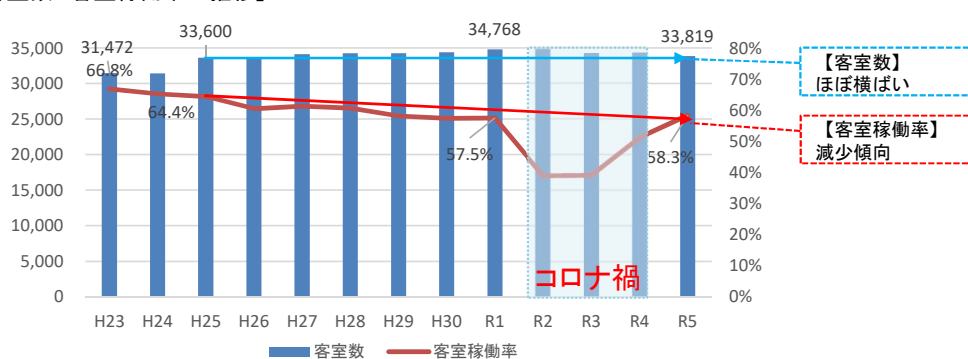
○客室稼働率については、震災後のH23以降減少傾向 (H23以降年平均減少率▲0.9%)

【宿泊者数の推移】

2024年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
全体	645,800	694,960	779,890	668,580	715,800	728,090	732,560	904,380	756,290	830,660	7,457,010
	対前年比	109.9%	115.5%	98.0%	94.1%	95.0%	91.4%	93.6%	93.1%	100.6%	97.6%
日本人	584,550	622,700	720,100	599,280	672,610	680,140	677,290	843,940	704,440	758,630	6,863,680
	対前年比	103.8%	107.8%	93.0%	91.2%	91.5%	89.3%	91.9%	91.2%	99.9%	94.9%
外国人	61,250	72,260	59,790	69,300	43,190	47,950	55,270	60,440	51,850	72,030	593,330
	対前年比	250.3%	303.5%	281.5%	131.0%	107.1%	105.7%	127.8%	125.2%	130.1%	146.3%

4月～10月までの対前年比 119%

【客室数と客室稼働率の推移】



(1) 宿泊観光客数 【把握方法】宮城県「観光統計概要」

【R9推計】

○客室数(ほぼ横ばい)、客室稼働率(減少)の傾向を踏まえ、R9の数値を試算 892万人泊

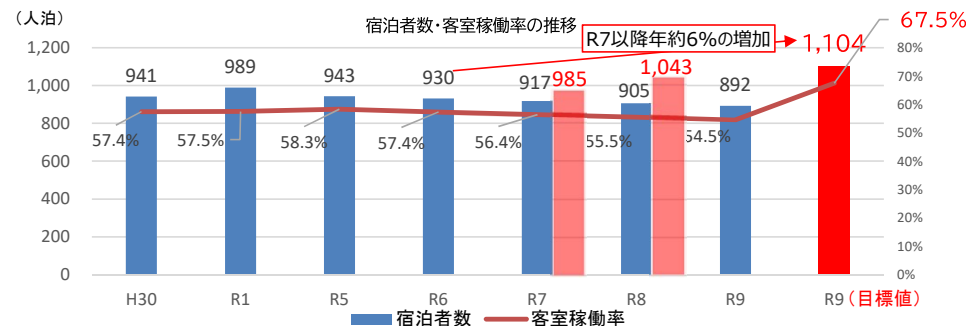
【R9目標値】

■ 1,104 万人泊 [R元(過去最高):989万人泊の約1.1倍、R5:943万人泊の約1.2倍]

✧復興財源の措置により、充実した観光施策を実施できたR1(当初予算額約28億円)の宿泊者数の対前年比増加率(+5%)と同程度の伸びを目指す。

✧客室稼働率の約10%上昇(58.3%⇒67.5%)を目指す。

✧県全体への誘客拡大を図るとともに、仙台圏域と他圏域間の周遊促進を図る。



(2) 外国人観光客宿泊者数 【把握方法】観光庁「宿泊旅行統計調査」

【R9目標値】

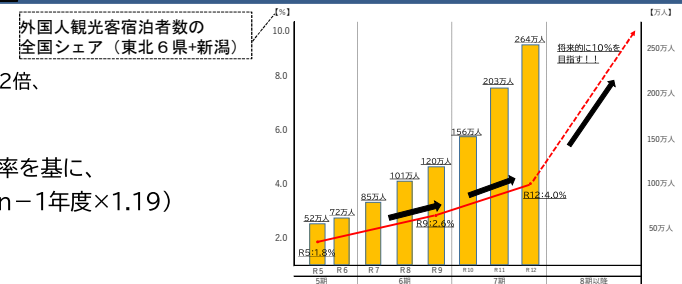
■ 120 万人泊

[R元(過去最高):53.4万人泊の約2.2倍、R5:51.5万人泊の約2.3倍]

【設定の考え方】

○直近の宿泊者数の対前年比伸び率を基に、

各年度の見込みを算出(n年度=n-1年度×1.19)



(3) 観光消費額 【把握方法】宮城県「観光統計概要」

【R9目標値】

■ 5,300 億円 [R元(過去最高):3,989億円の約1.3倍、R5:3,985億円の約1.3倍]

【設定の考え方】

○R5の数値をベースに、(1)、(2)、(4)で定めた数値目標の倍率(R9/R5)を乗じて各項目を積算

・日本人宿泊観光客数1.2倍(日帰りも同)、観光消費額単価1.1倍

・外国人宿泊観光客数2.3倍、観光消費額単価1.1倍

(4) 観光消費額単価 【把握方法】日本人：観光庁「旅行・観光消費動向調査」外国人：観光庁「インバウンド消費動向調査」

【R9目標値】

■ 日本人 29,000 円/人 [R5:26,640円の約1.1倍]

■ 外国人 79,000 円/人 [R5:71,768円の約1.1倍]

【設定の考え方】

○上記(1)宿泊観光客数の達成に向け、平均泊数を1.40日から1.56日に増加(約1.1倍)させることにより、単価の増加を目指す。

A(C/B)		B	C
	延べ宿泊者数 (人)	平均宿泊日数 (日)	延べ宿泊数 (人泊)
R5	6,736,000	1.40	9,430,000
R9	6,736,000	1.63	11,040,000
【ケース①】延べ宿泊者数が5%増加			
R9	7,072,800	1.56	11,040,000
【ケース②】延べ宿泊者数が10%増加			
R9	7,409,600	1.48	11,040,000